総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名 13 事件・事故のない安心してくらせる地域社会づくり		
総合評価(検討が必要な事項)	対応内容	
一次評価の検証		
・ 総合分析は妥当である。		
・ 「安全・安心まちづくりセンター」の活動は評価できることから、総合評価に入れると内容が充実すると思われる。	・白書を修正しました。	
・ 「県民・意見などへの対応」の欄は、「・・・・安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みを進めます」との記載で具体性に欠ける。	・白書の内容を「犯罪の発生実態に応じて警察官による街頭活動を強化し、県民の身近なところで発生する犯罪あるいは県民の体感治安に大きな影響を与える重要犯罪の抑止・検挙に努めるなど、事件・事故のない安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取組みを進めています。」と修正しました。	
・ 外国人犯罪を特に取り上げているが、流入する外国人が増えていることやそれらの人々の生活の不安定さも背景にある。神奈川の基本目標『世界に開かれた活力あふれる神奈川』の理念からすると違和感を持つ。確かに外国人犯罪も問題だが、県民が外国人に対してネガティブなイメージを持たない対策も必要である。 目標設定の妥当性	・戦略プロジェクト23「多文化 共生の地域社会づくり」にお いて、多文化理解の推進に取 り組んでいます。	
・ 県民が安心感を持てたと実感できる地域社会を多角的に評価するため、複数の目標設定を検討する必要がある。例えば、セーフティコミュニティの視点から、子どもの事件・事故等について、目標設定を検討する必要がある。	・次期計画に向けて、検討します。	
新たな政策課題 ・ IT情報化社会の進展に伴い、関連した事件や犯罪が増加していることから、対応を強化する必要がある。 ・ 小学生などが地域で安全に過ごせる環境を整備する必要がある。	・次期計画に向けて、検討します。	

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名 14 大規模地震に備えた対応力の強化		
総合評価(検討が必要な事項)	対応内容	
一次評価の検証		
・ <u>総合分析は妥当である</u> 。 ・ 県民への耐震住宅に関しての啓発活動が順次なされている と評価する。		
目標設定の妥当性		
 耐震改修補助事業への市町村の参加数から、県全域での取り組みが進んでいると評価が出来る。 耐震改修がどの程度実施されたのかなどの目標設定を検討する必要がある。 	・次期計画に向けて、検討します。	
新たな政策課題		
・ 大規模地震が発生した場合、3日程度の自助努力(地区努力)が重要であり、 <u>直後の公的支援には限界があることから、地域の対応力の強化に向けた取組みをさらに推進する必要がある。</u>	・事業を実施する中で対応を検 討します。	

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名 15 安全で安心な食生活・消費生活の確保	
総合評価 (検討が必要な事項)	対応内容
一次評価の検証	
・ 総合分析は妥当である。	
目標設定の妥当性	
・ 食品製造販売における行政指導及び行政処分件数の推移を	・次期計画に向けて、検討しま
評価指標とすることを検討する必要がある。	す。
 新たな政策課題	
・ 食品安全に関する事業者のコンプライアンス(内部統制)の	・次期計画に向けて、検討しま
向上については、事業者の努力を促進する取り組み(指導	· ·
<u>及び評価システム)を検討する必要がある。</u>	